

講演会&コンサート

有島武郎著『生れ出づる悩み』出版100年記念事業

茂木健一郎と

ミュージズたちの音の花束



講演
茂木健一郎

演奏

櫻本歩美(フルート)

伊藤幸枝(ピアノ)

土屋昌子(ヴァイオリン)

紺田早紀(フルート)



演奏曲

マリア・テレジア・フォン・パラディス作曲
シチリエヌ

グノー作曲
アヴェ・マリア

ヘス作曲
ラベンダーの香る庭で

チャイコフスキー作曲
懐かしい土地の思い出から「メロディ」

サン＝サーンス作曲
オデレット op.162

ショパン作曲
舟歌 嬰へ長調 op.60

2018年

7月30日(月) 開場10:30 開演11:00(講演50分・休憩10分・演奏50分)

会場 有島記念館アートホール

料金 常設展観覧料のみで入場できます[要事前申込・定員70名]

[一般500円・高校生100円 中学生以下・65歳以上のニセコ町民は無料 年間パスポート(1年間有効):一般800円・高校生200円]

申込・問合せ先:電話(0136-44-3245)・Eメール(arishima@town.niseko.lg.jp)

主催 ニセコ町・有島記念館(北海道虻田郡ニセコ町字有島57)



この事業はサマージャンボ宝くじの収益金を活用して実施しています

プロフィール



茂木 健一郎 講演

脳科学者、作家、ブロードキャスター。ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー。東京大学、大阪大学、日本女子大学非常勤講師。

1962年10月20日東京生まれ。東京大学理学部、法学部卒業後、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻課程修了。理学博士。理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て現職。専門は脳科学、認知科学。「クオリア」(感覚の持つ質感)をキーワードとして脳と心の関係を研究するとともに、文芸評論、美術評論にも取り組んでいる。2005年、『脳と仮想』で、第四回小林秀雄賞を受賞。2009年、『今、ここからすべての場所へ』で第12回桑原武夫学芸賞を受賞。



伊藤 幸枝 ピアノ

東京都出身。桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。これまでにピアノを池本純子、岡林千枝子、原田玲子、サンドラ・ショウの各氏に、伴奏法を山田武彦氏に師事。町田市主催新人演奏会をはじめ数多くのコンサートに出演。また後進の指導にあたった。1993年～1994年にはアメリカ、コネチカット州、シルバーマイン音楽院教授 Sandra shaw によるピアノデュオグループでデュオ演奏活動を行う。第32回日本ピアノコンクール特級の部、第1位。第20回日本クラシック音楽コンクール全国大会入賞。現在ソロ、室内楽、伴奏など各分野で活動している。品川フィルハーモニー・アンサンブル ピアニスト。



土屋 昌子 ヴァイオリン

桐朋学園音楽大学音楽学部附属子供のための音楽教室を経て、洗足学園音楽大学卒業。ヴァイオリンを宮嶋真理、石井志都子の各氏に師事。国内外のマスタークラスを受講し、及びディプロマを取得。現在、後進の指導にあたる他、オーケストラ、室内楽、音楽番組・ライブ等のアーティストバック演奏などフリー奏者として活動中。品川フィルハーモニー・アンサンブルコンサートミストレス。



紺田 早紀 フルート

札幌大谷大学芸術学部音楽学科卒業後、渡仏。エコールノルマル音楽院高等演奏家ディプロマを取得後、フランス国立イッシー＝レムリノー音楽院 DEM 課程に入学。同課程を最高得点、室内楽を審査員満場一致の最高得点で卒業。現在同音楽院 Jazz 課程在籍。フランス、イル・セガンホールのこけら落としで演奏。エピナルコンクール(仏)第二位。フルートを高橋公子、柿山里奈、ヴァンソン・リュカ、ヴァyson・ブラツツ、ミヒ・キム、ミエ・ウルクズノフの各氏に、室内楽を柿山里奈、高井明、ニナ・パタルチェク、パトリック・ハンスの各氏に師事。



櫻本 歩美 フルート

エリザベト音楽大学卒業。エコールノルマル音楽院フルート科第六課程音楽教育高等課程卒業。ベネデット・マルチェッロ国立音楽院フルート科修士課程卒業。伊藤文絵、植田恭子、竹本博、小坂哲也、F.ロッチェ、M.キム各氏に師事。モーツァルテウム音楽院サマーアカデミー、セルモネタマスタークラス、BDB 音楽アカデミー各ディプロマ取得、P.L.グラーフ氏師事。私立武田中学校音楽講師、河合楽器店講師、BarchettaBlu に勤務した。日本フルート協会主催 A. オリヴァ氏マスタークラス、仙台ワークショップにて F.ロッチェ氏、ミラノ・スカラ座主席 M.ゾーニ氏(ゼフィルス)通訳に携わる。品川フィルハーモニー・アンサンブル代表。